

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地域対策関係費								担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館					
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13		細目	003	説明	01	課等の長	森 徹	電話

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務					
事業概要	各市民センター・公民館を拠点とし、地区内の緊急・応急対策を必要とする諸課題への迅速な対応を図る。											
対象	1. 個人	市民 (藤沢地区)								44,546	人	
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市都市公園条例										
事業実施内容	公園などの安全性を確保するために、緊急・応急措置による対応を実施。											
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施											
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理	(	:									)
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	(	:									)
	<input type="checkbox"/> その他	(	:									)

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	149 千円	白旗廻り第二公園他ベンチ修繕
		役務費	148 千円	御幣公園樹木剪定等作業
	297 千円			
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
	297 千円			
		297 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	11,575	9,210	-1,076	1,250
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,750	9,136	1,511	1,261
	事業費(支出済額-②報酬合計)	544	547	544	297
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	8,206	8,589	967	964
	職員数(常勤 非常勤)	0.88   0.00	0.91   0.00	0.10   0.00	0.10   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	7,785	8,121	922	917
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	421	468	45	47
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,825	74	-2,587	-11
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	2,825	74	-2,587	-11
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他( )	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		27.52   420,619	21.67   425,105	-2.52   427,501	2.91   429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
			実績	-	単位		-	単位		-	単位		-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		緊急・応急対応に関する事業のため、指標の設定はできない。											
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	多様化する市民からの要望に迅速に対応する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	地区内の安全を確保するため，関係各課と連携を図る。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市が管理する公園・みどりの広場・道路における応急措置を実施し，市民要望及び安全性確保のために迅速な対応ができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	市が管理する公園・みどりの広場・道路などにおける安全性を確保するために，今後も必要な緊急・応急対応を図る。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
25	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

### 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防災訓練等関係費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	07	目	01	細目	002	説明	02	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	防災体制の強化と市民の防災意識の高揚を図るために総合防災訓練、津波訓練及び水防訓練等を実施する。															
対象	市民(藤沢地区)														44,546	人
根拠法令等	法律等	災害対策法														
事業実施内容	1 藤沢東部地区総合防災訓練 実施日：2018年11月11日 参加人数：441人 2 藤沢西部地区総合防災訓練 実施日：2018年12月2日 参加人数：477人															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施															
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先：藤沢東部地区自治会・町内会連合会, 藤沢西部地区町内会自治会)															
	(委託等内容：藤沢東部地区総合防災訓練, 藤沢西部地区総合防災訓練の実施)															
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( )															
<input type="checkbox"/> その他 ( )																

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	104 千円	総合防災訓練業務委託料
		104 千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		104 千円	104 千円	
3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)				
			平成30年度	
正規職員等			1.29	
再任用短時・任期付短時職員			0.10	
非常勤職員			0.00	
合計			1.39	
※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員				

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A	16,060	11,606	12,393	13,140
	(1)現金を伴う支出 (千円)	11,942	11,678	12,601	13,092
	事業費(支出済額-②報酬合計)	107	104	104	104
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	11,835	11,574	12,497	12,988
	職員数(常勤 非常勤)	1.26   0.00	1.20   0.00	1.33   0.00	1.39   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	11,221	10,921	11,946	12,383
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	614	653	551	605
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,118	-72	-208	48
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	4,118	-72	-208	48
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	38.18   420,619	27.30   425,105	28.99   427,501	30.61   429,317	

成果実績	指標名 地区総合防災訓練参加者数	目標	900	単位 人	900	単位 人	900	単位 人	900	単位 人
		実績	844	単位 人	858	単位 人	941	単位 人	918	単位 人
		数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			19,028.44		13,526.81		13,170.03		14,313.73	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	東日本大震災から8年が経過し，緊張感が保ちにくい状況にあることから，住民の防災意識を維持する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	訓練内容に変化を持たせ，これまで訓練に参加していない住民に訴えることで参加者の増加と防災意識の高揚を図る。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	ライフライン停止時の対応について等これまでに無い訓練内容を取り入れたことで，若い世代の参加者が多く参加し，幅広く防災意識の高揚が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	総合防災訓練をより実践的な内容にするなど，訓練内容の充実を図り，継続して実施し，市の防災訓練体制の強化と住民の防災意識の高揚を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
34	地区防災拠点本部会議について	無	有	1	3
35	地区総合防災訓練の開催について	有	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑の広場設置事業費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内に散在する空閑地を借地して、市民の憩いの場として開放し、災害時の一時避難場所とするなどの有効活用を図り、良好かつ快適な生活環境を図るための維持管理を実施するもの。 (藤沢地区 7ヶ所緑の広場)						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)				44,546	人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市緑の広場の確保に関する要綱						
事業実施内容	地域住民の憩いの場として緑の広場の適正な管理を実施するため、定期的な草刈りや除草、施設の維持管理を実施するもの。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( : )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,901 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)										
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		需用費	534 千円	緑の広場車止め修繕ほか											
		役務費	1,367 千円	緑の広場草刈り作業											
財源内訳	H30年度 支出済額 1,901 千円	事業費節別財源内訳			<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.15</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.15	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.15
			平成30年度												
		正規職員等	0.15												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.15												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他( )															
一般財源	1,901 千円														

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.15
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.15

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	3,229	2,893	3,467	3,330			
	(1)現金を伴う支出(千円)	2,889	2,896	3,336	3,346			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,934	1,932	1,886	1,901			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	955	964	1,450	1,445			
	職員数(常勤 非常勤)	0.10 0.00	0.10 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	904	910	1,383	1,375			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	51	54	67	70			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	340	-3	131	-16			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	340	-3	131	-16			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	7.68	420,619	6.81	425,105	8.11	427,501	7.76	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	緑の広場の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。									
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	緑の広場の施設は全体的に老朽化が進んでおり，広場区域の境界であるフェンス等施設も老朽化が進み，修繕予算には限りがあるので，緑の広場のあり方について検討が必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後，要綱や管理方針の検討を公園課と進め，緑の広場として必要があるならば，改修等に向けての予算化について必要と考える。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緑の広場利用者が安全で快適に利用できる環境の維持管理が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	緑は市民の安全で快適な生活を支え，潤いを与えてくれるものである。今後も緑の広場設置事業を実施することにより，緑の防災機能や景観機能，環境保全機能，レクリエーション機能の向上を図る。また，令和元年度からは，地域執行分の事業としてではなく，公園所管課が全市的な視点に基づいて実施する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
33	緑の広場の維持管理に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑地改修事業費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	005	説明	02	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内に残された貴重な緑地としての市有緑地等を保全するための事業を実施する。						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)				44,546 人	
根拠法令等	その他(要綱等) ” 「西富憩いの森」 充実 ” の提言						
事業実施内容	西富憩いの森の充実を図るための検証・提言を踏まえて、散策路等の整備を行う。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	1,284 千円	需用費	1,284 千円	西富憩いの森階段, 手摺等修繕											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.02</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.02	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.02
		平成30年度													
	正規職員等	0.02													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.02													
	支出済額	費目	支出済額(千円)												
1,284 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他( )														
	一般財源	1,284 千円													

## 4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	行政費用 A		3,332	3,276	1,474		
	(1)現金を伴う支出(千円)		3,062	3,484	1,476		
	事業費(支出済額-②報酬合計)		2,290	3,291	1,284		
	償還金利子		0	0	0		
	人件費合計(①+②+③)		772	193	192		
	職員数(常勤 非常勤)		0.08 0.00	0.02 0.00	0.02 0.00		
	参考:正規職員平均給与		9,101	9,219	9,167		
	①職員給与合計(常勤)		728	184	183		
	②報酬合計(非常勤)		0	0	0		
	③退職金相当額		44	9	9		
	(2)現金を伴わない支出(千円)		270	-208	-2		
	①減価償却費		0	0	0		
	②退職給与引当金繰入額		270	-208	-2		
	③不納欠損額		0	0	0		
④その他( )		0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		7.84	425,105	7.66	427,501	3.43	429,317

成果実績	指標名	西富憩いの森の安全確保のために修繕した階段の段数(累計)	目標	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			76	単位 段	150	単位 段	190	単位 段
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	提言に基づき三カ年で必要な箇所を段階的に修繕しているため、階段に特化して目標値を設定していない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-	43,842.11	21,840.00	7,757.89		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	平成28年度から平成30年度にかけて行われてきた整備が終了し, 今後は整備された状態を維持できるように管理する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	事業としては終了するが, 引き続き提言に基づいて安全性と快適性を維持できるように, 維持管理する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	破損階段等の改修, 耐久性の高い案内板の設置により施設の安全を確保し, 快適に利用できるようになった。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	この事業については, 平成30年度をもって終了した。 今後は郷土づくり推進会議の提案内容を踏まえながら, 所管課で事業計画を進めていく。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	郷土づくり推進会議の開催について	無	無	1	2
25	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園管理業務費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	02	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園利用者の利便性と安全性を堅持し、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に潤いと憩いの空間を提供するため、公園内の樹木剪定や草刈りなど定期的な維持管理を実施するもの。(藤沢地区 34公園)						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)			44,546 人		
根拠法令等	法律等	都市公園法・都市公園法施行令・都市公園法施行規則・藤沢市都市公園条例・藤沢市都市公園条例施行規則					
事業実施内容	1 公園内の定期的な維持管理 2 公園内の遊器具及び施設の修繕						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社小池造園) (委託等内容 : 公園の維持(樹木剪定, 草刈, 清掃等)) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 38,626 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	11,297 千円	富士公園万年堀撤去等修繕ほか
		役員費	2,515 千円	御幣公園等遊具撤去等作業ほか
財源内訳	H30年度 支出済額 38,626 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	20 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他( )				
一般財源	38,606 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.25
再任用短時・任期付短時職員	0.33
非常勤職員	0.00
合計	0.58

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	c	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	36,205	36,006	34,673	42,820
	(1)現金を伴う支出 (千円)	34,503	36,022	35,579	42,847
	事業費(支出済額-②報酬合計)	29,729	31,199	31,190	38,626
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	4,389	4,221
	職員数(常勤 非常勤)	0.50   0.00	0.50   0.00	0.58   0.00	0.58   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	4,277	4,104
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	254	272	112	117
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-906	-27
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-906	-27
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	86.08   420,619	84.70   425,105	81.11   427,501	99.74   429,317	

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		公園の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	供用開始から年数が経った公園等が多く, 老朽化した公園施設の補修が現予算では追いつかない状況である。同様に樹木の生長が非常に著しく未剪定箇所が多いため, 早急に対応が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後, 維持管理方針や水準を見直す必要がある。具体的には, 樹木の絶対数を減らす伐採の検討や, 危険度に応じた改修施設の優先順位付けを行い, 長寿命化計画と併せた総合的な対応を検討する取組が必要と考える。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園利用者が安全で快適に利用できる環境をつくった。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	公園利用者の利便性と安全性を確保するため, 公園内の樹木や施設などの適切な維持管理を継続して実施する。また, 令和元年度からは, 公園課に事業を移し, 全市的な視点に基づいて実施する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
27	街区公園管理業務委託に関する事	無	無	3	3
30	公園の修繕に関する事	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園愛護会育成費(地域執行分)										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	04	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	街区公園等の管理(清掃・除草等)を地域住民の協力を得て行うため、公園愛護会(市民により構成される団体)設立を奨励し、地域による公園自主管理組織を育成する。						
対象	1. 個人	市民(藤沢地区)				44,546	人
根拠法令等	その他(要綱等)	藤沢市公園愛護活動実施要綱					
事業実施内容	藤沢地区内公園愛護会への助成						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : )						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )						
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 交付金:公園愛護会 )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	945 千円	藤沢地区公園愛護会連絡協議会交付金
		945 千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		945 千円		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他( )				
一般財源	945 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.05
再任用短時・任期付短時職員	0.10
非常勤職員	0.00
合計	0.15

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	2,613	2,195	1,753	1,979
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,171	2,199	2,035	1,984
	事業費(支出済額-②報酬合計)	930	945	945	945
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	1,241	1,254	1,090	1,039
	職員数(常勤 非常勤)	0.13 0.00	0.13 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	1,175	1,183	1,068	1,016
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	66	71	22	23
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	442	-4	-282	-5
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	442	-4	-282	-5
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	6.21 420,619	5.16 425,105	4.10 427,501	4.61 429,317	

成果実績	指標名	愛護会数	目標	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	
			実績	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	20	単位 団体	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		130,650.00	109,750.00	87,650.00	98,950.00						

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	公園愛護会会員の高齢化が進んでいる状況で，解散する団体や，また愛護会の活動自体だけではなく，交付金申請書類等の事務手続きが煩雑であることから，会員への負荷となっている状況。
(2) (1)解決のための今後の取組	公園愛護会制度について，書類の簡素化や制度自体の活動内容などの再検討を行い，「制度のあり方」について見直しを図る。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園愛護会へ助成することにより，公園管理の助力となった。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	公園愛護会制度が市民との協働による公園管理の助力となっているので維持する。また，令和元年度からは，公園課に事業を移し，全市的な視点に基づいて実施する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
31-①	公園愛護会の設立に関すること	無	無	1	1
31-②	公園愛護会交付金の交付に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園改修費(地域執行分)	担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館	
予算科目コード	会計 01 款 09 項 04 目 04 細目 002 説明 06	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	地域まちづくり事業である「地域緑化運動事業」「地域の魅力発見事業」について、取り組むもの。 「地域緑化運動事業」においては、斜面緑地等を整備・維持管理し、「地域の魅力発見事業」については、桜の植樹等を実施する。				
対象	1. 個人 市民(藤沢地区)			44,546 人	
根拠法令等	法律等 都市公園法・藤沢市都市公園条例				
事業実施内容	①地域緑化運動事業：現存する緑地の保存のため、樹木剪定等を実施。 ②地域の魅力発見事業：伊勢山公園における桜の植樹などを実施。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳 出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳												
	5,441 千円	費 目	支出済額 (千円)		主な事業内容									
		役務費	5,441 千円		御所ヶ谷緑地等樹木剪定等作業ほか									
財 源 内 訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td style="text-align: center;">0.03</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td style="text-align: center;">0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">0.03</td> </tr> </table> <p>※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員</p>		平成30年度	正規職員等	0.03	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.03
		平成30年度												
	正規職員等	0.03												
	再任用短時・任期付短時職員	0.00												
	非常勤職員	0.00												
	合計	0.03												
	5,441 千円	費 目	支出済額 (千円)											
	分担金・負担金													
	使用料・手数料													
	国庫支出金													
	県支出金													
	その他 ( )													
	一般財源	5,441 千円												

## 4. コスト分析

コ ス ト 支 出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	8,029	7,359	5,132	5,726
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,348	7,359	5,712	5,730
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,439	5,430	5,422	5,441
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	1,909	1,929	290	289
	職員数(常勤 非常勤)	0.20   0.00	0.20   0.00	0.03   0.00	0.03   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	1,808	1,820	277	275
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	101	109	13	14
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	681	0	-580	-4
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	681	0	-580	-4
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	19.09   420,619	17.31   425,105	12.00   427,501	13.34   429,317	

成果実績	指標名	やすらぎを感じる市民を増やす 事業実施数	目標	10	単位	10	単位	12	単位	15	単位
			実績	13	単位	10	単位	12	単位	15	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			617,615.38	735,900.00	427,666.67	381,733.33					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	事業の拡充が必要となるか，また対象エリアの拡大を図る必要があるか検証が必要である。
(2) (1)解決のための今後の取組	緑化を進めるなど事業拡充を図るには，対象緑地における土地利用の方向性を決定する必要がある。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園利用者が安全で快適に利用できる環境を整備した。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	令和元年度からは，公園課に事業を移し，郷土づくり推進会議の提言を踏まえた上で，全市的な視点に基づいて実施する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
25	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	旧東海道藤沢宿活性化推進事業費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	01	細目	011	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	旧東海道藤沢宿において、活性化に効果的な事業展開・情報発信を行うため、民間事業者等とのマルチパートナーシップにより、誘客宣伝につながるイベントを実施する。						
対象	4. その他	藤沢市を訪問する観光客（海水浴客を除く）				16,820,565 人	
根拠法令等							
事業実施内容	藤沢宿への誘客に向けて、小田急電鉄「のんびりハイク&ウォーク」を実施した。 また、湘南ふじさわウォーキング協会「ウォークメイト キュンとするまち藤沢宿と遊行寺」への協力を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 87 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		旅費	23 千円	イベントへの視察											
		需用費	64 千円	参加記念品絵はがきほか											
財源内訳	H30年度 支出済額 87 千円	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.40</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.40	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.40
			平成30年度												
		正規職員等	0.40												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.40												
		費目	支出済額 (千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ( )															
一般財源	87 千円														

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	行政費用 A		13,251	9,204	2,183		
	(1)現金を伴う支出 (千円)		9,880	9,611	3,942		
	事業費(支出済額-②報酬合計)		235	428	87		
	償還金利子		0	0	0		
	人件費合計(①+②+③)		9,645	9,183	3,855		
	職員数(常勤 非常勤)		1.00 0.00	0.95 0.00	0.40 0.00		
	参考:正規職員平均給与		9,101	9,219	9,167		
	①職員給与合計(常勤)		9,101	8,758	3,667		
	②報酬合計(非常勤)		0	0	0		
	③退職金相当額		544	425	188		
	(2)現金を伴わない支出 (千円)		3,371	-407	-1,759		
	①減価償却費		0	0	0		
	②退職給与引当金繰入額		3,371	-407	-1,759		
	③不納欠損額		0	0	0		
④その他( )		0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		31.17	425,105	21.53	427,501	5.08	429,317

成果実績	指標名	誘客宣伝イベントによる誘客数	目標	1,000	単位	-	単位	600	単位
			実績	1,533	単位	-	単位	473	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	8,643.84	-	-	4,615.22		

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	「藤沢宿にぎわい創出協議会」の, 事業計画及び実施に当たっては事務局と当該協議会構成員の一部と直接進める形を取っている。様々な団体, 企業が参画しているメリットが生かしきれていない状況にある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	今後, 更なるにぎわいの創出を図るために, 「藤沢宿にぎわい創出協議会」内で事業への関わり方及び事業の実施方法を検討し, より自立発展的なものに再構築する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	「藤沢宿にぎわい創出協議会」会員のうち2企業・団体が事業を実施し, それぞれの企業, 団体の主体的なイベントを誘致したため, 少ない経費で実施することができた。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	今後, 更なるにぎわいの創出を図るために, 様々な形でのイベント誘致・情報発信を行う。また, 「藤沢宿にぎわい創出協議会」内で事業への関わり方及び事業の実施方法を検討し, より自立発展的なものに再構築する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
25	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	有	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------



# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のため、施設の維持・管理を行うもの。																
対象	1. 個人	市民 (藤沢地区)														44,546	人
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市公民館条例															
事業実施内容	施設の良好な維持管理により、利用者の利便を図る。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 小田急デパートサービス(株), 篠崎電気管理事務所)																
	(委託等内容: 総合管理業務, 自家用電気工作物保安管理業務)																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ):																
<input type="checkbox"/> その他 ( ):																	

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 23,457 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容	
		報酬	1,756 千円	地域業務員報酬	
		需用費	6,282 千円	消耗品費, 施設修繕費, 光熱水費, 上下水道代	
		委託料	12,895 千円	総合管理業務委託	
		使用料及び賃借料	807 千円	電子複写機賃借料, 印刷機リース代ほか	
その他	1,717 千円	車両購入, 経常旅費, 電話代ほか			
財源内訳	H30年度 支出済額 23,457 千円	事業費節別財源内訳			平成30年度
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			
その他 (公民館使用料, 光熱水費実費収入ほか)	3,411 千円				
一般財源	20,046 千円				

正規職員等	4.08
再任用短時・任期付短時職員	0.45
非常勤職員	0.86
合計	5.39

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	90,806	83,315	76,280	76,776			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	61,998	67,910	65,578	65,281			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	16,437	16,268	17,301	23,457			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	45,561	51,642	48,277	41,824			
	職員数(常勤 非常勤)	4.67   0.86	5.25   0.86	4.98   0.80	4.53   0.86			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	41,538	47,136	44,493	39,910			
	②報酬合計(非常勤)	1,756	1,756	1,756	0			
	③退職金相当額	2,267	2,750	2,028	1,914			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	28,808	15,405	10,702	11,495			
	①減価償却費	13,594	13,594	13,594	13,338			
	②退職給与引当金繰入額	15,214	1,811	-2,892	-1,843			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	215.89	420,619	195.99	425,105	178.43	427,501	178.83	429,317

成果実績	指標名	-	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績	-	実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	分館（済美館）は老朽化が進み，利用者の安全と快適な利用環境を確保するため，計画的な修繕を進める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	優先順位を付け，緊急性の高い箇所から優先的に修繕を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	1 3 地区の拠点施設の1つとして役割を果たし，また社会教育施設として地域団体・サークル等の主要な活動場所となっている。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	分館（済美館）は，藤沢公民館・労働会館等複合施設が，平成31年4月に供用開始された後も，藤沢地区の拠点施設としてその機能を維持・管理することが必要である。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	公民館の施設整備に関すること	無	有		2
7	公民館利用団体の登録に関すること	無	無	3	3
8	公民館の使用許可に関すること	無	無	1	
9	公民館使用料に関すること	無	無	1	1
10	公民館施設の利用方法に関すること	無	有	3	
11	公民館施設の委託業務契約に関すること	有	有	3	1
12	公民館施設の維持管理に関すること	有	無	1	3
16	公民館施設の目的外使用に関すること	無	無	1	
18	サークル連絡会に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公民館事業費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	地域住民の生涯学習の場として、幅広い内容の事業を実施するとともに、市民の自主的な学習・文化活動の場を提供する。																
対象	1. 個人	市民														429,317	人
根拠法令等	法律等	社会教育法															
事業実施内容	生涯学習に関する講座の実施、および文化活動の推進・支援 公民館講座など計50事業 事業総実施回数 131回																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	直接実施																
	<input checked="" type="checkbox"/>	委託・指定管理 (委託先 : 藤沢公民館まつり実行委員会) (委託等内容 : 第41回藤沢公民館まつり事業)															
	<input type="checkbox"/>	補助金・負担金 ( : )															
	<input type="checkbox"/>	その他 ( )															

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,341 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報償費	1,034 千円	講師謝礼, 保育協力者謝礼
		委託料	283 千円	公民館まつり事業委託料
		役務費	24 千円	ピアノ調律代
財源内訳	H30年度 支出済額 1,341 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	1,341 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.88
再任用短時・任期付短時職員	0.43
非常勤職員	0.00
合計	2.31

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	27,834	19,617	27,685	20,625			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	22,014	20,313	25,945	21,826			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,738	1,535	1,492	1,341			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	20,276	18,778	24,453	20,485			
	職員数(常勤 非常勤)	2.41 0.00	2.22 0.00	2.73 0.00	2.31 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	19,409	17,950	23,468	19,603			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	867	828	985	882			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	5,820	-696	1,740	-1,201			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	5,820	-696	1,740	-1,201			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	66.17	420,619	46.15	425,105	64.76	427,501	48.04	429,317

成果実績	指標名	公民館主催事業の参加者数(延べ人数)	目標	8,093	単位	7,705	単位	8,616	単位	6,570	単位
			実績	8,531	単位	8,939	単位	5,889	単位	7,175	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			3,262.69	2,194.54	4,701.14	2,874.56					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	事業参加者の年齢比率が15歳以下が49.2%, 60歳以上が40.4%であり, 中間の年代層へのアプローチの研究と, その世代を対象とした魅力ある事業の検討を進める必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	課題等について, 本館単独だけではなく全庁的な取組が必要であると考えため, 継続した検討が必要である。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	市民の生涯学習・文化活動を支援し, 公民館講座の開催や公民館サークルの支援等, 学習環境の整備を推進した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	学習成果を地域課題の解決に活用する機会や場を創出するために, それをサポートする人材や体制の充実を図る。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
1	公民館まつりに関すること	有	有	3	3
2	公民館評議員会に関すること	無	無	1	1
3	公民館事業に関すること	無	有	1	3
4	公民館事業実績報告に関すること	無	無		1
5	事業の企画・実施活動等に関すること	無	無	1	3
13	館内外の掲示板, 展示作品の管理に関すること	無	無	1	1
14	公民館だよりに関すること	無	無	1	1
15	教材・教具等物品の貸出に関すること	無	有	1	1
17	学習相談に関すること	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	藤沢公民館移転事業費										担当課	部課名	生涯学習部藤沢公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	森 徹	電話	6737

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	従来の藤沢公民館の機能を、平成30年度中に完成する藤沢公民館・労働会館等複合施設へ移転する。						
対象	1. 個人	市民 (藤沢地区)				44,546	人
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市公民館条例					
事業実施内容	1 新施設に要する消耗品・備品の整備 2 新施設におけるPC環境の整備 3 新施設における電話回線の整備 4 新施設への移転						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : NECフィールドディング株式会社 ) ( 委託等内容 : ふじさわシティWi-Fiアクセスポイント追加に関する業務委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 34,927 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	23,297 千円	椅子, 会議室机, ブラインドほか
		役務費	4,821 千円	移転作業手数料, 機器移設作業手数料ほか
		委託料	2,679 千円	ふじさわシティWi-Fiアクセスポイント追加に関する業務委託
		備品購入費	4,130 千円	卓球台, スクリーン, ベンチほか
財源内訳	H30年度 支出済額 34,927 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
一般財源	34,927 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.85
再任用短時・任期付短時職員	0.10
非常勤職員	0.00
合計	0.95

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
行政費用 A				46,235
(1)現金を伴う支出 (千円)				43,675
事業費(支出済額-②報酬合計)				34,927
償還金利息				0
人件費合計(①+②+③)				8,748
職員数(常勤 非常勤)				0.95   0.00
参考:正規職員平均給与				9,167
①職員給与合計(常勤)				8,349
②報酬合計(非常勤)				0
③退職金相当額				399
(2)現金を伴わない支出 (千円)				2,560
①減価償却費				0
②退職給与引当金繰入額				2,560
③不納欠損額				0
④その他 ( )				0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)				107.69   429,317

成果実績	指標名	-	目標					-	単位
			実績					-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設の移転を総合的に達成することが事業の目的であるため。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)								-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	特になし。
(2) (1)解決のための今後の取組	平成30年度で事業終了。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	複数の部が関わり，新しい施設への移転ということで物品の購入，様々な契約等で調整を要したが，移転を無事に完了することができた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	複合施設であることから移転の際にも多くの調整を要したが，今後は施設運営をしていく中で，指定管理者と各施設で情報共有できるよう連絡会議を定例化していく必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	公民館の施設整備に関すること	無	有		2
11	公民館施設の委託業務契約に関すること	有	有	3	1
12	公民館施設の維持管理に関すること	有	無	1	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/9
----	-------	----	-------	-----	----------